



静岡実験動物研究会

ニュースレター

2019.6.6 NO.18

CONTENTS

会長挨拶	1
企画委員会からのお知らせ	2
令和元年度大会開催にあたって	4
第47回研究発表会演題募集	6
会報掲載原稿提出のお願い	7

研究会に関するご意見、ご要望、お問い合わせは下記まで

静岡実験動物研究会 事務局 高木弓枝
〒433-8114 静岡県浜松市中区葵東三丁目5番1号
日本エスエルシー株式会社 バイオテクニカルセンター
TEL: 053-437-5348 FAX: 053-436-4320
E-mail: yumie-t@jslc.co.jp

■ 会長挨拶

静岡実験動物研究会 会長

静岡県立大学薬学部

石川 智久

会員各位におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成 18 年に環境省から告示されました「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」には、動物実験の基本理念である「3R の原則」に加えて、動物福祉の基本理念である「5 つの自由」も反映されています。「5 つの自由」とは、国際的に認められている動物福祉の基準であり、①飢え及び渇きからの自由（適切な給餌・給水）、②肉体的不快感及び苦痛からの自由（適切な飼育環境）、③傷害及び疾病からの自由（健康管理・予防と適切な診断・治療）、④恐怖及び精神的苦痛からの自由（適切な取り扱い）、そして⑤本来の行動様式に従う自由（適切な空間・仲間）からなります。当初は英国での家畜の劣悪な飼育管理を改善し、家畜の福祉を確保するために定められたものですが、現在では、実験動物の飼養保管にも適用され、動物福祉の基本理念として広く世界に認められています。動物の QOL を確保するための基本原則であるともいえます。今年度は、「5 つの自由」の「①飢え及び渇きからの自由」に関連した教育セミナーを本研究会企画委員会が企画して下さいました。「実験動物の飼料について学ぶ」と題して、8 月 9 日（金）に三島の東レ総合研修センターにて開催されます。ぜひ、積極的にご参加いただき、問題を共有する機会にさせていただけたらと思います。また、10 月 18 日（金）には、浜松医科大学・刑部光利先生のご尽力により、第 49 回総会及び第 47 回研究発表会が浜松の「クリエート浜松」にて開催されます。静岡実験動物研究会の活性化と更なる発展は、研究発表会で多くの演題が発表され、活発な議論が行われることにかかっていると言っても過言ではありません。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

■ 企画委員からのお知らせ

企画担当幹事

柴主（科研製薬）、寺田（クミアイ化学）、渡辺（ボゾリサーチセンター）

動物福祉の「5つの自由（five Freedoms）」の一つに「飢え及び渇きからの解放」があり、実験動物用飼料は動物福祉に対する配慮事項になります。実験動物用飼料は、実験結果へ影響する要因をできるだけ少なくするため、栄養条件を一定にすることが求められています。また、実験動物種及び発育ステージに応じた固形配合飼料は、発育、健康状態及び生理機能の維持に適した栄養素が配合されており、その一方で飼料の選択を誤ると栄養障害を招くことがあります。

今回の教育セミナーでは、実験動物用飼料についての特徴や栄養学と動物に対する嗜好性及び常用性等について学び直していただき、実験目的に合った実験動物用飼料を選択する際の一助になれば幸いです。

令和元年度教育セミナー 「実験動物の飼料について学ぶ」

日時：2019年8月9日（金）午後

場所：東レ総合研修センター 2F 大研修室（三島駅北口から徒歩10分）

http://www.toray.co.jp/network/loc_403.html

タイムスケジュール

12:30～13:00 受付

13:00～14:30 特別講演 「イヌ・ネコ用飼料の嗜好性と食欲」＜仮題＞

徳本 一義 先生（ヘリックス株式会社 代表取締役社長、獣医師/MBA）

休憩 ＜器材展示閲覧 30分＞

15:00～15:30 講演1 「国内の実験動物飼料の過去・現在・未来」

武石 勝 先生（日本実験動物飼料協会/フィード・ワン株式会社）

15:30～16:00 講演2 「PMI 飼料 カジってみませんか？」

森田 昌延 先生（日本エスエルシー株式会社）

休憩 ＜器材展示閲覧 20分＞

16:20～16:50 講演3 「飼料の選び方・精製飼料でできる事（Research Diets 社）」

後藤 泉 先生（EP トレーディング株式会社）

17:10～19:00 軽食付きフリーディスカッション@センター棟2階 多機能室

- 参加申込
- ・ 下記、静岡実験動物研究会企画担当委員までメールでお申込みください。
 - ・ 申込み時に軽食付きフリーディスカッションの出欠も併せてお知らせください。
 - ・ 可能な限り所属機関単位で取り纏めて申し込みをお願いします。
 - ・ 参加費は軽食含め無料です。
 - ・ 定員 84 名 参加希望者が定員に達し次第、募集を締切らせていただきます。

参加資格：当会会員 および 賛助会員（1 機関 3 名まで）

- ※ 非会員の方は事前にご入会いただき、参加申込みの程よろしくお願いたします。
- ※ 賛助会員機関では非会員の方も 1 機関 3 名まで参加可能とします。所属機関単位でのお申込みをお願いいたします。

お申込み、お問合せ先：

静岡実験動物研究会 企画担当委員 担当：渡辺 大

株式会社ボゾリサーチセンター 函南研究所

TEL：055-978-7851 FAX：055-978-898

E-mail: watanabe@bozo.co.jp

■ 令和元年度大会開催にあたって

静岡実験動物研究会 令和元年度大会大会長

浜松医科大学 刑部 光利

会員各位におかれましては時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

来る令和元年10月18日（金）にクリエート浜松において静岡実験動物研究会第49回総会ならびに第47回研究発表会を開催いたします。

特別講演として浜松医科大学の高林秀次先生に「10分でできるノックアウトマウス・ラットの作製法～in vivo ゲノム編集 i-GONAD 法」と題してご講演いただきます。ゲノム編集技術の研究に携わっている先生より興味深い発表があると思います。

実験動物の飼育員（技術専門職員）として40年間大学に従事しておりますが、実験動物においては自然発症モデルや突然変異の動物を繁殖していたものが、近年では顕微鏡下での遺伝子改変動物の作製、衛生管理の徹底や苦痛の軽減などの動物愛護法による法令遵守等著しい変化に驚くばかりです。

大学の施設においても微生物モニタリングや衛生管理・法令遵守は当たり前となり、飼育員に求められているものが動物の飼育・洗浄・機器のメンテナンス等だけではなく研究者から各部位からの採血・投与さらに胚移植・精子凍結等の手技の提供（要望）が求められていると実感しております。

この研究発表会を特に若手の研究者、技術者方々の初めての発表の場にしていただき、技術提供、経過報告、情報交換や親交を深める場を提供できればと思います。特に35歳未満の発表者は「林榮一賞」の受賞対象となりますので発表済み・未発表を問わず広く演題を募集いたしますので、多くの皆様の参加と発表を役員一同お待ちしております。

令和元年度大会開催案内

静岡実験動物研究会令和元年度大会（第49回総会、第47回研究発表会）につきましては下記の通りに予定しておりますので、ご案内いたします。

日時：令和元年10月18日（金）13時から

場所：クリエート浜松 ホール・21 講座室

URL: <http://www.hcf.or.jp/facilities/create/>

〒430-0916 浜松市中区早馬町2番地の1

TEL: 053-453-5311 FAX: 053-453-5379

- ◆JR 浜松駅より徒歩 10 分
- ◆遠州鉄道「遠州病院駅」東隣
- ◆遠州鉄道バス、「県総合庁舎」、「常盤町」バス停下車

参加費：2,000 円（懇親会費無料）

当日、受付にてお支払い下さるようお願い申し上げます。尚、発表者は無料となりますので受付にてお申し出下さい。



概要

総会

令和元年（平成 31 年）度事業報告

令和元年（平成 31 年）度会計報告

令和 2 年度事業計画

特別講演

10 分でできるノックアウトマウス・ラットの作製法～in vivo ゲノム編集 i-GONAD 法
高林秀次先生（浜松医科大学光先端医学教育研究センター医用動物資源支援部 助教）

研究発表会

※一般演題を募集しています。下記の演題募集要綱をご参照下さい。

懇親会

懇親会

会員相互の親睦を深めるため、研究発表会后、懇親会を予定しております。優秀発表賞（林榮一賞）の表彰式も併せて行いますので、奮ってご参加下さい。

日時 : 令和元年 10 月 18 日（金）18 時開始予定 2 時間程度

場所 : クリエート浜松 2F アトリエ

懇親会費 : 大会参加者無料

大会に関するお問い合わせ先：

大会（研究発表会）に関するお問い合わせは下記へお願いします。

令和元年度大会 担当幹事

浜松医科大学

刑部 光利

TEL：053-435-2219 FAX：053-435-3791

E-mail：osakabe@hama-med.ac.jp

■ 第47回研究発表会演題募集

静岡実験動物研究会第47回研究発表会の一般演題を下記の要綱にて募集いたします。奮ってご応募下さい。発表時に35才未満の発表者（当研究会の会員）を対象とし、優秀発表賞（林榮一賞）を表彰しております。

発表形式： 口演（発表8分、質疑応答2分）

*応募演題数によっては発表時間を変更させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。

スライド形式： MS-Power Point (ppt/pptx) Mac or Windows

募集要綱： ①演題名、②発表者氏名、③共同研究者名、④所属、⑤連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、⑥会員区分（会員／非会員）、⑦発表時（10月18日）の年齢、⑧要旨（作成ソフトは可能な限りMS-Wordをご使用いただき、A4用紙1枚に作成下さい）。上記①～⑧を下記申し込み先にE-mail（メール添付）あるいは郵送にてお送り下さい。E-mailの件名は「静岡実験動物研究会演題申し込み（発表者氏名）」をお願いします。

応募締切： 令和元年8月31日（土）

申し込み先： 〒431-3192 浜松市東区半田山1-20-1

浜松医科大学光先端医学教育研究センター医用動物資源支援部

刑部 光利

TEL：053-435-2219 FAX：053-435-3791

E-mail：osakabe@hama-med.ac.jp

■ 会報掲載原稿提出のお願い

第 47 回研究発表会の発表内容を静岡実験動物研究会会報に掲載させていただきますので、発表者は下記要領に従って会報掲載原稿の作成および提出をお願いします。

<会報原稿作成要領>

- 1) 原稿の長さは、図表を含めて A4 刷り上り 2 ページを目処としております。1 ページあたり 2024 字を目安にして下さい。
- 2) 原稿の作成は①～④をご参照下さい。
 - ① 句読点は「.」、「,」を用いる。
 - ② 数字と単位の間半角空白を挿入する（%の場合は空白なし）。
例) 25 mm、55 mL、82%
 - ③ 図表の表題：図の場合は図の下に、表の場合は表の上に記述する。
略語などの説明：図の場合は表題の下に、表の場合は表の下に記述する。
 - ④ 図表の文中での引用：句点付近では句点の前に記述する。
例) 増加した (図 2).
明らかとなった (Table 1).
- 3) その他体裁、引用文献の記載方法、刷り上りのイメージ等は、会報 44 巻 1 号 (2018) の一般抄録および巻末の投稿規程をご参照下さい。
- 4) 文章、図、写真、表は次のファイル形式で作成して下さい。
文章： Microsoft Word(doc)あるいはテキスト(txt)ファイル
図・写真： Microsoft PowerPoint(ppt)あるいは jpg ファイル
表： Microsoft Excel(xls)、Word(doc)あるいは PowerPoint(ppt)
- 5) 文章中には、図・写真および表の挿入箇所を入れて下さい。文章中に図・写真および表を挿入した原稿を作成して頂いても結構ですが、刷り上りの書式に整えていただく必要はございません。
- 6) 演題抄録の末尾に著者プロフィールを掲載しますので、著者名、略歴、主な研究、抱負、趣味、座右の銘など簡略に記載願います (必須ではありません)。体裁は会報 44 巻 1 号 (2018) の一般演題抄録をご参照下さい。
- 7) 原稿の提出は、2019 年 12 月 20 日 (金) までをお願いします。
- 8) 原稿の提出は、原稿ファイルの E-mail 添付、原稿ファイルを保存した CD-ROM 並びに印刷された原稿のご郵送のいずれかでお受けします。
- 9) 原稿の送付および原稿に関するお問い合わせは下記までをお願いします。

静岡実験動物研究会 会報担当

中野 洋子

アステラス製薬株式会社 製薬技術本部 製剤研究所

〒425-0072 静岡県焼津市大住 180

TEL : 054-627-6589 FAX : 054-627-9859

E-mail : hiroko.nakano@astellas.com

以上